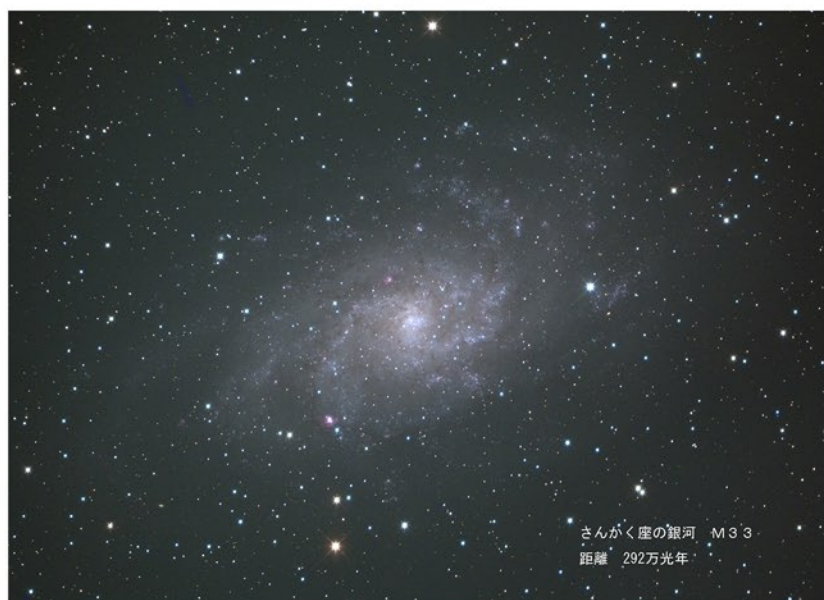


星屑

2016 年 1 月号

No. 490



M33 三角座の銀河

Takahasi ε -180ED ATIK383L+ 総露出 45 分

EM-200 改 熊本市南区城南町

熊本県民天文台

12/4(金) 城南公民館講座

「秋から冬の星空観察会」

珍しいことに 今回は参加申込が少なく・・・、しかも当日は寒いし、厚い雲が広がっているし、開催できるのか?? と



■ 開催できるか?

公民館のスタッフだけでなく、私たちにもとても心配された「城南公民館講座」でした。

幼稚園や保育園に通うちびっ子の間に、風邪が流行ってもいたようです。申し込みは、3組あったそうですが、「子供が風邪を引いた」などの理由で、2組が直前にキャンセル。それで、残る一組が予定通りに来台されるか、公民館のスタッフさん達、大変心配だったようです。でも、開始時刻頃、にこやかな笑顔で来台されました。

■ 曇り空での解説

しかし、空には一面の厚い雲、観察会の開催時間帯に星が見えるとは思えない状態でした。それで、まず、1階のミーティング室で開会。それから、2階へ上がって、屋根がかぶったままの観測室で望遠鏡の構造を説明しました。それから、スライディングルーフを開けて、望遠鏡動かし方やパソコンでの制御の仕方を説明。レーザーポインターを、望遠鏡の向いている空へ照射して、それを望遠鏡の視野で確認してもらったり、自動導入の模擬操作を実演したりしました。

そして、質疑応答も。子供さんもいるので、できるだけクイズ形式にしながら、話題を膨らませて・・・・・・・・・・、(この辺はずいぶん工夫したつもりです)

しかし、言葉での解説だけでは、「楽しい!」と感じ続けてもらうのは、やはり大変です。

特に、小さい子どもさんにとって、言葉だけを聞いて想像力を働かせ続けるのは疲れますね。そろそろ1階へ移動し「電子紙芝居」にした方が良いと思い、「1階へ行きましょう。暖かい部屋で解説をしますから」と話しかけたら・・・、身体が冷えてきたこともあって、皆さん素直に1階へと移動する気配になりました。

で、念のために観測室を見回し、夜空も眺め回したら・・・、南の空の1カ所だけ、雲の薄いところがあるじゃあないですか! 「あれは晴れ間かなあ?」「うーん、肉眼では星が見えない、高い空にもう一枚、雲が広がっていきそう」と、西嶋さん。念のため双眼鏡を、その方向に向けて、確認してくれました。そうしたら、そこに星が見えたのだとか。あら!

■ タップリと星を観察

そこから、「星の観察」が始まりました。次第に、雲の隙間が通るようになり、隙間の大きさも大きくなって・・・。雲が湧いたり消えたりを繰り返しながら、すごいスピードで変化し続けました。で、望遠鏡では、デネブカイトス・アルデバラン・ベテルギウス・M42などを観察。双眼鏡では、スバルも楽しんでいただきました。秋・冬の星空解説もバッチリです。

何しろ、お客さんは一組だけ、貸し切り状態でしたからね。たっぷり楽しんでいただきました。「最初は、あんまり楽しくなかったけど、途中から、とっても楽しかった!」 そう言って、ちびっ子さん嬉しそうでした。いや～、「星が見えて」 良かった! 良かった!



11/15(日) 恒星社厚生閣 から 出版されました 「あなたもできる デジカメ天文学」

”マカリ” パーフェクトマニュアル 定価(本体2,700円+税) amazonでも取扱
県民天文台から、望遠レンズで撮影した「太陽画像(黒点有り)」を提供しました

昼間は太陽観測！

～定年後は昼間の天体趣味を～

今年の4月から無職となり、昼間に自由な時間が持てるようになった。自由といえば聞こえはいいが、暇ともいう。

退職前にいろいろな人から

「昼間の時間をもてあますよ!」

「毎日が日曜日でも最初がいいが、2ヶ月もするともてあますようになるよ」

「辞めるとすぐに昼間から酒を飲んで、1年もしないうちにぼけてしまうぞ」などとさんざん脅されてきた。最後の忠告はお酒が好きな私だからこそそのものだろう。

嫁の陰謀

しかし、そんな夢のような生活はそうそうあるものではない。朝のコーヒーを煎れることから始まり、猫トイレの掃除、犬の散歩、風呂の掃除といろいろとやっているうちにあっという間に一日が終わってしまう。大好きな読書三昧の日々という当初の計画は、この日を待ち構えていた妻の前にもろくも崩れ去ってしまったのだ。なにせ、どこから見ても暇そうにしているのがいけない。やれ、畑を耕せだの植木の剪定をやれだのなんのと仕事がつきることがない。おまけに今年の春から夏にかけて天気が悪く、夜天体写真を撮りに出かけることもなかったのが「無職＝暇」という事実を更に目立たせてしまった。

太陽観測の先達

これではいかんと思っているときに、ふと思い出したのが Tommyさんと Juroさんのことだ。Tommyさんはブログでほぼ太陽の H α 写真だけを更新し続けていた。結婚後少し更新が遅れ気味だが、仕事に出かける前に写真を撮ってまとめて処理をして更新というスタイルで見事復活されている。Juroさんは毎日太陽面を撮影し、数年にわたる観測結果をまとめて太陽面の変化を眺めて楽しんでいらっしやる。

昔語り

夜はそれぞれ忙しい方達の昼間の天体写真というわけだ。昔を思い出すと、高校時代地学部で活動で毎日太陽黒点の観測をしていた。歴代の観測結果が残されていて、黒点の変化の様子を見るのが結構楽しみだった。大学時代も時間があれば観測していたが、その記録はどこへ行ってしまったものやら。卒業後中が教師として就職してからも、科学部の生徒と一緒に観測を続けていたのだが、いつの間にかやらなくなってしまった。

物欲との戦い 負けは必定だけれども・・・

しかし、最近の日食や金星の太陽面通過などの天文現象で、少しずつ太陽の写真を撮る機会が増えてきてはいた。しかし、「いまさら白色光で太陽を撮ってもなあ」というのが正直な気持ちだった。ここ 10 年以上前から P.S.T.などの太陽観測専門の望遠鏡が結構手

軽に購入できるようになってきた。しかし、そのうちにとまって購入を見送っていたところ、円安で大幅に値上がりしてしまって購入のタイミングを逃してしまった。しかも無職で年金も出ない身としては、なかなか購入には踏み切れないのだ。が、物欲というものは恐ろしい。テレスコ工房に「LUNT LS50THa B400 Pressure Tuned H α 太陽望遠鏡 1 セット限り激安品」というお知らせが出ていた。迷っているうちにお知らせが消えた。まあ仕方がないかと思っていると、再び登場。どうも星祭りに出かけていたようなのだ。迷ったのだが、思い切って購入。8 月 19 日に到着した。物欲にはほとんど弱いのだ。これで数ヶ月分の小遣いが消えてしまった。

はまるおもしろさ

早速覗いてみると、写真でしか見たことがない世界が広がっている。プロミネンスが飛び出し、太陽面には黒い筋がうねうねと見える。写真に撮るのは結構難しいのだが、やりがいはある。なんといっても晴れてさえいれば昼間から「観測」をやるのだ。つまり、もう「暇」ではないのだ。朝のうちに撮影を済ませ、処理を進めてブログにアップすると昼のミュージックチャイムが聞こえてくる。なにせ田舎ですから。立派な観測だということにしておけば、嫁さんのつけいる隙も少ないというものだ。時々、大きなプロミネンスが出ているときに、屋上に呼んで一緒に見ればご嫁さんの機嫌もいいので大助かりだ。それにしても、太陽観測ははまるおもしろさだった。毎日毎日同じ太陽面はない。しかし、毎日変化が続いていく楽しさもある。毎日毎日観測結果を積み上げていくことで分かることもあるし、突発的に大きなプロミネンスが見えたりするおもしろさもある。皆さんも太陽観測やってみませんか？ 昼間の天体観測なんてものもいいものです。

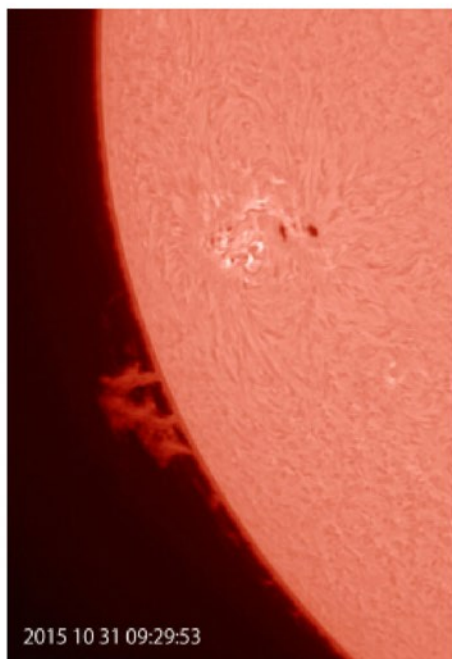


LUNT LS50THa

口径 50mm の入門機

接眼部にガタが多いのが欠点

フラットな感じに見える



☆☆☆☆ ちょっと一服

Poem & Illustration

いつまでも暖かい日が続くねえ…と思っていましたら、11月末になって突然の冬到来。我が家の猫たちのお鼻グズグズで寒さに震えている姿に、ついにリビングが早目の冬仕様となりました。

ぱっとしなかった11月の空でしたが、12月に入り、そこそこ好天の日も。いよいよオリオンをはじめとした冬の星座を楽しむ季節になりました。ただ、目立つ惑星がいないのがちょっとさびしいかも。

その惑星たち、10～11月、夜明け前の東天に木・金・火・水とそろい踏みでかたまっていました。すっかり離れてきました。夜明け前、天頂付近で輝く木星、東天に目立つ金星と、そのちょうど中間点の火星。さらに超低空の土星と、これから西天に移る水星。そこに彗星も加わると、またまた10月に続き、朝の寝不足が…



薄明 その2

訪問者がある なんて
すっかり油断していた から
折りたたんだ夜のひだを
あわてて揃えている

(夢は まだ 凍えたつま先で 遊んでいるのに)

出迎えるための儀式は
午前5時30分 の 星月夜
沈み始めた冬の輝きで アイメークして

(まぶたが重たいのは ラメ の せいなの)

正装してのお出迎えは ムリ なので
とりあえず 手持ちの代用
ニャーニャー鳴く毛皮とか
バルコニーのない東の窓とか

(お客様は どこ)

見えない訪問者に向かって手を振ると
にっこり笑って振りかえす 気配だけが
冷たい金属の一点に宿っていく
押し寄せる光の その向こうの 気配
だけ が



By Dio

2015年11月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 5日／13日＝38.46%
一般来台者数 32名

総開台日数 6日
会員来台数 13名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
6 日 (金)	曇り時々 晴れ	西嶋 小林 J	8 人	女性 2 人組、子だくさん家族 4 人、カップル 2 人 ベガ、アルデバラン、ベテルギウス、リゲル WW,M57,M27,hx,M45,M31,M42,アルビレオ 初めは雲ばかり・・・日頃の行いの良い人たち だったのか運営時間は雲の切れ間で星が見え た。公開終了後、再び曇り
1 0 日 (火)	曇り	艶島	1 1 人	韓国スンチャ郡から視察団来台 天文台設立の経緯、運営方法、望遠鏡のサイズ や価格、購入方法などたくさんの質問がありま した。募金 5,000 円頂きました。
1 5 日 (日)	晴れ	艶島	8 人	月、ベガ、カペラ、アルデバラン、ベテルギウ ス、リゲル、M37,M42 雲が広がったり消えたり変化の激しい夜でし た。 「就職が決まって明日から東京です。」と熊本 での最後(?)の夜を星見で過ごす女性が友人 と一緒に来台。たっぷり楽しんで変えられまし た。
2 0 日 (金)	晴れた り曇っ たり	西嶋 小林 J	1 人	月、アルビレオ、M31,アンドロメダγ、hx、 リゲル、ベテルギウス、スバル、 M42,M1,M36,M37,M38 とても熱心なおお客様でした。お天気が今ひとつ だった割にはいろいろ見られて良かった。
2 1 日 (土)	曇り	中島	4 人	月 月しか見えない残念な空です。しかし、月 の撮影ができました。良かったですね。 Talk About

		艶島小林 J 小林 M 高田 西嶋 中島		星屑発送作業 来月の予定 大掃除計画など
28日 (土)	曇り	中島	0人	誰も来ない。曇り空です。21:00で帰ります。

夜明けのカタリナ彗星を見よう!

現在、カタリナ彗星が観察しやすくなっている。夜明けに金星の近くを移動中だ。お正月2日にはアークトゥルスのすぐ近くを通過する。このときの光度は6等級を切って5等台になる模様だ。おとめ座からうしかい座へと移動していく。双眼鏡でもその姿は捉えられるので、是非見て欲しい。今年の冬は例年と比べて寒さが厳しくないなので観察は比較的楽に行える。しかし、そうはいつでも0℃近くにはなるのでしっかりと着込んで風邪を引かないようにして欲しい。

私は、通常焦点距離 500mm の望遠鏡で撮影しているのだが、2つの尾が丸でひらがなの「へ」の字のように写って、結構楽しい。夜明けまでの間の短い時間しか撮影できなかったのだが、次第に高度が増してきたので、かなり余裕を持って撮影できるようになってきた。空の暗いところで撮影されたその姿は、なかなか素晴らしいものがある。少しでも近づけるように晴れた朝は5時には観測準備を整えておきたいものだ。



カタリナ彗星 C/2013US10 12月9日 5時32分～47分 30秒7枚合成

12月に入って、寒い日が多くなりましたね。インフルエンザもそろそろ流行ってきそうな気配です。先月までは、結構暖かったんですが。さて、来年は部分日食や半影月食、火星最接近等目白押しですよ。さて、今年一年お付き合い頂き、本当に有難う御座います。来年も皆様にとって良い年になりますように。<(_ _)>

☆ 1 月の天文現象 & 行事 ☆

- 1 日 (金) 元旦 熊本での初日の出は 7 時 20 頃です
C/2013 US10 カタリナ彗星が 5 等台
(2 日にかけてうしかい座のアークトゥルスに大接近する)
- 2 日 (土) 下弦 (14 : 30)
- 3 日 (日) 地球が近日点通過 (07 : 49 0.983304 天文単位 47100176km)
- 4 日 (月) 明け方の東天で、月と火星が接近
しぶんぎ座流星群が極大
- 5 日 (火) 火星が留 (13 : 41) 天王星が東矩 (15:02 5.8等 視直径03.5")
- 6 日 (水) 小寒 (しょうかん … 寒冷一段と厳しくなる。俗に「寒の入り」)
- 7 日 (木) 夜明けの東天で、細い月と金星、土星が接近
うみへび座 R 星が極大 (3.5~10.9等 周期375日)
- 8 日 (金) 運営始め
- 9 日 (土) 木星が留 (04 : 35)
トークアバウト (20 : 00 ~ 変更の場合あり)
- 10 日 (日) 新月 (10 : 31)
- 14 日 (木) 水星が内合 (17 : 46)
- 17 日 (日) C/2013 US10 カタリナ彗星が M101 銀河に接近 (07 : 00)
上弦 (08 : 26)
- 21 日 (木) 大寒 (だいかん … 寒さは極限。寒の入り (小寒) から数えて 16 日目頃)
- 24 日 (日) 満月 (10 : 46)
- 26 日 (火) 水星が留 (03 : 48)
- 30 日 (土) 火星が西矩 (09:28 0.9等 視直径06.7")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2016年1月号 通巻490号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県熊本市南區城南町塚原 2016 番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO 熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで